平成　22　年　　12月　補正予算要求事業調書

1　予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)	区分		
9	児童福祉執行管理事業（保育課）	新規	(拡大)	継続

会計区分	款	項	目	所管
一般会計	3	4	1	子ども未来局　保育部　保育課

事務事業の位置付け				
しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名	
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名	
根拠法令・条例・規則等	児童福祉法			

予算要求事業の概要

内容	国の保育所運営費国庫負担金における保育所徴収金基準額に新たに階層(第８階層)が創設されたことに伴い、現行の保育システムで発行している、厚生労働省へ報告する月報及び支弁台帳が新たな階層創設に対応していないためシステム改修するものです。
目的・目標	<目的> 厚生労働省への月報報告及び国庫補助金の申請に用いる運営費支弁台帳作成を正確に行うことを目的としています。 <目標(平成22年度末)> 報告義務のある月報作成や国庫補助金申請に係るものであるため、事務処理を適正かつ速やかに行えることを目標とします。
現状と課題	<現状(平成21年度末)> 現行のシステムでは歳児、所得税額、市民税額等から月報及び運営費支弁台帳が自動的に作成されますが、国の新たな階層創設には対応できていません。 <課題> 国の保育所運営費国庫負担金における保育所徴収金基準額の変更については、平成22年度の保育所運営費の支弁に係るものであるため、平成22年度中の改修が必須となります。
今後のスケジュール	・平成23年３月末までに保育料システムの改修を行います。

2　補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	国の階層創設に伴う改修であり、今年度中に早急に行う必要があります。
	実施義務	根拠法令等
	他市の実施状況	政令市：全市実施 県内他市：全市実施
効果	対象者	国及びさいたま市
	効果	システム改修により事務処理を適正かつ円滑に行うことができます。

3　当初予算と補正予算要求の内容

（単位：千円）

	区分	金額	備考
平成22年度	当初予算	11,342	<積算内訳> 1　電算委託料
	財源内訳 ①　一般財源	11,342	
12月補正予算	補正予算要求	9,237	<積算内訳> 1　電算委託料　【CIO査定済】
	財源内訳 ①　一般財源	9,237	
	財政局長査定	9,237	<査定内容> 1　電算委託料　【CIO査定済】
	財源内訳 ①　一般財源	9,237	
	<査定理由> 保育システムの改修は、国庫補助請求等で必要な運営費支弁台帳、及び月報作成にかかる事務作業を正確かつ効率的なものにするために必要な経費であると判断し12月補正に計上することとしました。		
	市長査定	9,237	<査定内容> 1　電算委託料　【CIO査定済】
	財源内訳 ①　一般財源	9,237	
	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。		